

構成		単元	内容	日程（予定）	
I	導入 (全体を俯瞰するために)	1 信仰をもって生きる	オリエンテーション 詩編23/祈りと識別への歩み 十字架の出来事／「本当にこの人は神の子だった」（マルコ15:33-41） 「わたしのことを思い起こしてください」（ルカ23：26-43） 復活の信仰に生きる（ロマ6：1-11） 神は愛（1ヨハネ4:7-4:21） 信仰は聞くことから始まり、良い知らせを告げていく（ロマ10:8-17）	1	5月12日
		2 「カトリック教会のカテキズム」表題の意味	聖書と聖伝／背景としての信仰共同体 教会は一・聖・公・使徒的であること 「わたしが信じます」から「わたしたちは信じます」への道程 第2バチカン公会議と教皇の回勅	2	5月19日
		3 信仰と理性は両立する	回勅「信仰と理性」から 教父たちの理解 (アウグスティヌス・カンタベリーのアンセルムス・トマス・アキナス)		
		4 聖書の構造	聖書が物語ること・契約を結ばれる神が示すプロセス 聖書の成立過程と文書配列	3	5月26日
		5 聖書の解釈	通時的解釈／様式史・生活の座 共時的解釈／語りの分析・物語理解 ともに読み、ともに分かち合うなかで深めていく	4	6月2日
				5	6月9日

II	信仰箇条 わたしたちに啓示された神の在り方	1	使徒信条とニケアコンスタンチノーブル信条	三位一体という言葉ができた背景・教会の信仰理解 「父と子と聖霊のみ名によって」が意味するもの／交わり／関係性の中で現わされていく神の姿	6	6月16日
		2	父である神	一般的な神という概念との相違／人格的交わりを求めていく方	7	6月23日
				「アッパ、父よ」イエスの祈り	8	6月30日
				イエスと敵対する人々との問答から（マルコ12:13-27）	9	7月7日
				天地創造と神の似姿（ImagoDei）	10	7月14日
				アブラハムの召命とイサクの奉獻、ヤコブからイスラエルへ	11	7月21日
		3	御子であるイエス・キリスト	愛といつくしみをそそがれる方/裁きと救い		
				ソロモンの神殿の意味と形骸化した宗教行為の拒絶		
				ロゴス賛歌	12	7月28日
				主の洗礼と十字架	13	8月4日
				主を愛しなさい、隣人を自分のように愛しなさい (休み)		8月11日
				互いに愛し合いなさい	14	8月18日
				ペトロの信仰告白／一人の信仰者としての歩み	15	8月25日
		詩編22／イザヤの主の僕の歌／イエスの受難	16	9月1日		
		空の墓と復活・昇天へ（イエス・キリストと弟子たちの復活物語）				
		キリスト賛歌	(予備日or休み)	9月8日		
4	聖霊	聖霊降臨の出来事	17	9月15日		
		イエスの告別説教	18	9月22日		
		パウロの理解/教会をかたちづくる	19	9月29日		
		キリストのからだとしての共同体性をつくりだす	20	10月6日		
		聖霊の賜物と実り	(予備日or休み)	10月13日		

III	信仰表現 主の食卓を囲むために ともに捧げ、ともに祈る	1 秘跡理解の基本	7つの秘跡（目に見えない神の恵みを目に見えるしるしとことばによって）	21	10月20日
		2 聖体の秘跡	5つのパンと2匹の魚／マナの出来事 主の晩餐の出来事／「わたしの記念として行いなさい」 「わたしのからだ。わたしの血」 ミサの式次第 イエス・キリストの自己奉獻と主の食卓理解（みことばの食卓と感謝の食卓） イエス・キリストから遣わされていく者へ	22 (休み) 23	10月27日 11月3日 11月10日
		3 洗礼・堅信の秘跡	イエスとニコデモとの対話 洗礼を受ける意味／キリストの光が灯されキリストを着る者 堅信の意味／按手と塗油・使徒的、キリスト者／祭司職・王職・預言職 コリントの教会における出来事 成人洗礼と幼児洗礼・望みの洗礼／代父母／霊名	24 25	11月17日 11月24日
		4 ゆるしの秘跡	ゆるしの秘跡の式次第（緒言） 放蕩息子のたとえ／ダビデの出来事／詩編51 罪理解／告白すること／ゆるし理解 教会の奉仕の務めを通してゆるしが与えられることの意味／償い	30 31	1月5日 1月12日
		5 病者の塗油の秘跡	病者の塗油の秘跡の式次第（緒言） 詩編130／終油から病者の塗油へ ヨブの体験／「タリタクム」の出来事／癒し理解	32	1月19日
		6 婚姻の秘跡	結婚式の式次第（緒言） カナの婚礼の出来事／ことばが出来事となっていく イシュとイシャーの関係性・二人は一体となる／人格的交わりの完成 婚姻の絆（唯一性と不解消性）が法の保護下にあることの意味	33	1月26日
		7 叙階の秘跡	聖なる者とされた人々（教会共同体）と召命（1コリント1:1-9,18-31） 聖職者位階制度（助祭・司祭・司教）と組織から見た教会 ペトロの後継者である教皇（Pontifex）と全世界の教会の一致 教会の交わりと神の民（聖職者・信徒・修道者）理解	34	2月2日

IV	祈り 神に心を開く	1	祈りへの招き	霊による執り成し（ロマ8:26-29） 待降節の意味／主の来臨と再臨	26	12月1日
					27	12月8日
		2	主の祈り	山上の説教と主の祈り 日毎の糧／みとこばと聖体によって養われていく 黙示録の新しい天と地／「主イエスよ、来てください」		
		3	アヴェ・マリアの祈り	おとめの意味／主の降誕の出来事 神の母聖マリア／無原罪の聖母／聖母被昇天 ロザリオ／教会の祈り（詩編をとおして祈る） 執り成しの祈り,黙想,巡礼が意味すること	28	12月15日
					29	12月22日
					(休み)	12月29日
V	典礼 祭司職を果たしていく	1	時のサイクルのなかで信仰を表現していく	典礼暦とミサ／典礼と信心業 四旬節の意味／大斎・小斎 典礼の頂点である復活徹夜祭と聖なる三日間	35	2月9日
		2	洗礼志願式と洗礼・堅信式	復活徹夜祭における洗礼・堅信の式次第	36	2月16日
					(予備日or休み)	2月23日
VI	生活の中の信仰 「行きましょう。主の平和のうちに (Ite,missa est)」 王職（牧職）と預言職	1	イエス・キリストから遣わされていく者になる	「善い先生」と尋ねていく金持ちの人（マルコ10：17~31）／十戒 聖人とわたしたち／良心と徳 現代世界憲章（司牧憲章）の概要と預言職の役割	37	3月3日
					38	3月9日
		2	教会に所属することの意味	王職（牧職）における責任の自覚と自由意志 共同体をかたちづくりつづけるもの・祈りと奉仕の精神 共同体の一員としての役割／教会の5つの掟を考える 宣教の歩みと第2バチカン公会議以降のこれから 教会の台帳に記録されていく (洗礼台帳・堅信台帳・婚姻台帳・死亡台帳) 教会へ転出と転入の記録（信徒籍台帳）	39	3月16日
VII	最後のまとめ	1	1年間の講義を通して	洗礼に向けて／振り返り 詩編23／わたしの人生を復活されたイエス・キリストとともに生きる フォローアップコースへ	40	3月23日